

電解水衛生環境システム  
守る水



製品及び仕様について正しい内容のご確認のため、ご購入前には必ずお読み下さい。



安全に関するご注意

- ご使用前には取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- 水素ガス・酸素ガス・微量の塩素ガスが発生します。屋内に設置する場合は、十分な換気が必要です。また、火の気のない場所に設置してください。
- ESS-100、300はタンク内に排気ダクトを設けてガスを機械の外へ排気しています。屋内に設置する場合には、必ず、十分な換気を行ってください。排気ダクトを延長して屋外に排気する場合は、火の気のない場所に取り付けてください。
- 揮発性、引火性のある物、また粉状の物、ホコリ、油煙等が発生する場所の近くに設置しないでください。火災の原因となります。
- 電解槽、電気制御盤には高電流が流れていますので、決して触れないでください。
- 電解水の生成に使用する水は、水道水を使用してください。
- 酸性電解水を、塩素系洗浄剤や、塩素系漂白剤と混ぜないでください。
- 寒冷地に設置する場合は、必ず凍結対策をしてください。
- 据付工事、電気工事、配管工事等が必要です。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 転倒防止のため、必ず本体固定金具を取り付けてください。転倒防止対策を行っていないと、地震等の振動により製品が転倒し、ケガの原因となります。
- 製品の分解、改造は絶対に行わないでください。感電、火傷、重量パーツが外れ、大ケガをする可能性があります。
- このカタログ上の製品は医療用ではありません。
- このカタログ上の製品は日本国内仕様です。海外では使用できません。

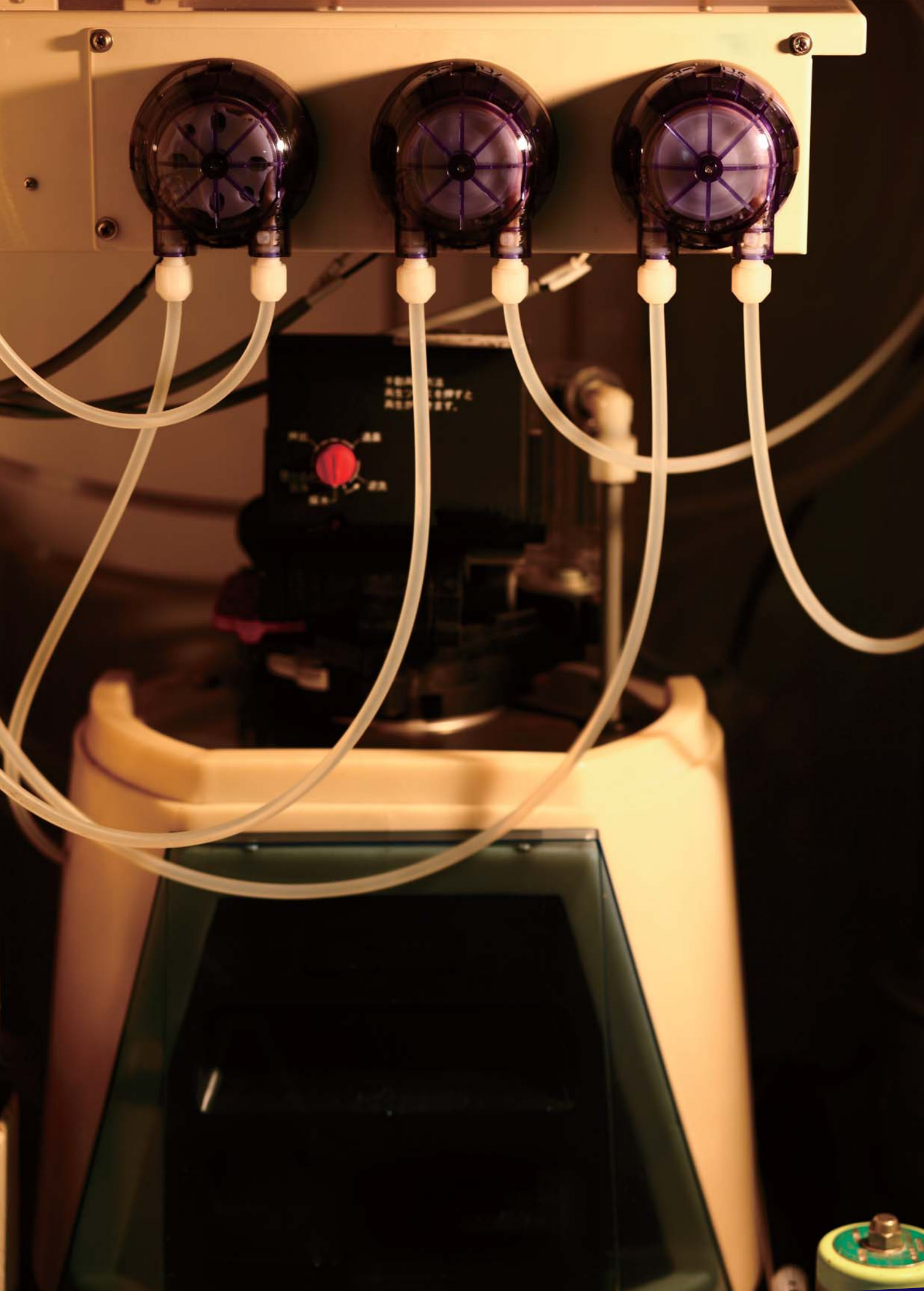
電話一本  
**日本全国 即メンテナンス**  
全国【札幌】【仙台】【東京】【名古屋】【金沢】【大阪】【広島】【福岡】  
の8拠点及び全国販売店との連携で**即対応**いたします。

優しい地球 "Eco" に貢献  
**電解水**  
日本電解水協会会員  
TECH CORPORATION 株式会社  
テックコーポレーション

**守る水**<sup>®</sup>

電解水衛生環境システム The water protects your life.





# 「電解水」で、衛生管理をサポート。

電解水衛生環境システム

## 守る水

目には見えなくても、私たちが暮らす日常空間には様々な細菌が潜んでいます。その対策として有効な手段が、塩と水で電気分解して生成する「電解水」。洗浄力の「アルカリ性電解水」と除菌力の「酸性電解水」。

食品業界や福祉施設をはじめ幅広いシーンで、清潔な環境作りをサポートします。



電解水衛生環境システム

## 守る水<sup>®</sup>

The water protects your life.

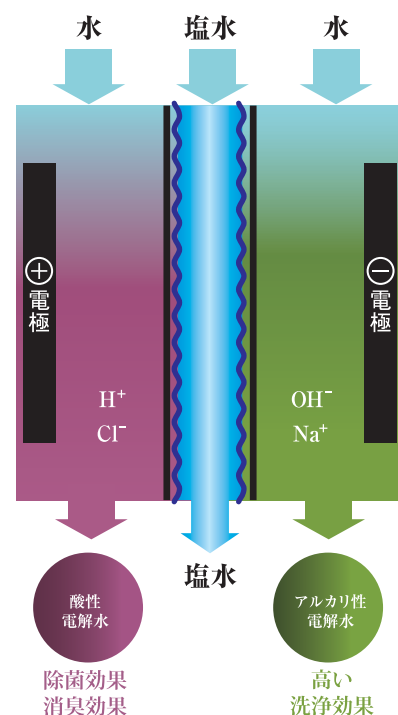
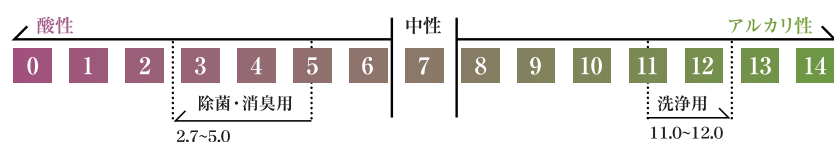
# 細菌への有効な手段「電解水」。

洗浄力の「アルカリ性電解水」。除菌力の「酸性電解水」。  
電解水の二つのチカラが、細菌を除去した真の「清潔」を実現します。

## 電解水の生成に必要なのは、 「水」と「塩」と「電気」だけ。

電解水の生成に特別な原料は必要ありません。必要なのは「水」と「塩」と「電気」だけ。水と塩を電気分解することにより、「アルカリ性電解水」と「酸性電解水」が生成されます。

マイナス(-)の電極側から洗浄力の高い約pH10.5以上のアルカリ性電解水と、プラス(+ )の電極側から除菌力の高い約pH3.0~5.0(有効塩素濃度20~60mg/kg)の酸性電解水が生成されます。



## 洗浄&除菌。W効果の電解水。 汚れの中に潜む菌も、効果的に除去します。

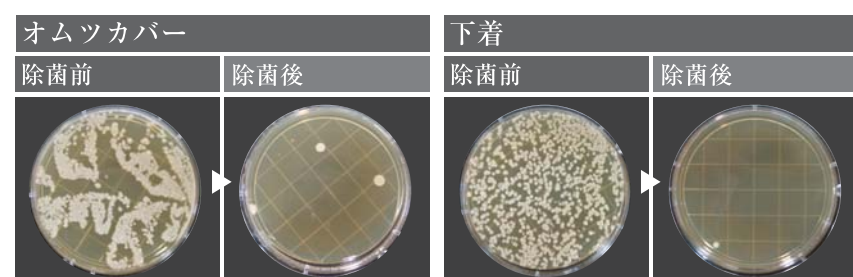
雑菌が洗濯物に残ると、それらの微生物が増殖し、不快な臭いを発生させることがあります。通常の除菌剤だけでは菌を覆っている汚れにガードされてしまい、十分な除菌効果を発揮することができません。そこで、洗浄力&除菌力、W効果の「電解水」。まず、「アルカリ性電解水」で、細菌の温床や臭いの元となるたんぱく質・油脂汚れを分離。「酸性電解水」で菌を除去します。



## 施設内衛生管理の対策に。

電解水を洗濯水として使用した際の除菌効果

酸性電解水に含まれる次亜塩素酸が高い除菌効果を発揮し、洗濯しながら除菌します。



マルチセル型電解槽

# 食の現場の設備環境衛生を 電解水の力でサポートする。

細菌やウイルスから身を守るには、「食品衛生 7S（整理・整頓・清掃・洗浄・殺菌・しつけ・清潔）」を踏まえ、環境衛生についての徹底した施策が重要です。これをサポートするのが電解水の洗浄・除菌効果。調理場・調理器具から、食材・食品の保管スペースまで。食の現場の衛生管理に、電解水が活躍します。



### 食品売場に。

フロアから陳列棚まで。電解水を使用すれば隅々まで除菌できます。



### キッチンまわりに。

調理台の清掃や調理器具の除菌や消臭など、厨房における衛生管理全般に。



### 床・排水溝の洗浄に。

効率的な清掃作業に欠かせない電解水。泡立つことなく洗浄、除菌できる使い勝手の良さがあります。



### お客さま用カートにも。

たくさんの方が触れる物にこそ安心を。皮脂汚れ等を分離しながら、除菌力を発揮します。



## 食品業界での電解水

次亜塩素酸水(酸性電解水)は平成14年6月に厚生労働省より食品添加物殺菌料として指定されました。平成24年4月には規格基準の改正が行われ使用できる濃度(pH、有効塩素)が拡大し、カット野菜の洗浄や厨房機器の洗浄除菌に活用されてきました。さらには平成26年4月には生食用生鮮魚介類や冷凍食品の加工時に使用することが出来るようになり食品業界では電解水は幅広く活用できる存在となりました。



# ※1 増え続ける介護サービス施設。およそ31万事業所。 施設の総合的な衛生管理を電解水で。

※1:令和3年度:介護サービス施設・事業所調査の概況(厚生労働省統計より)

高齢者施設においては高いレベルの衛生管理が求められます。そこで、電解水。衣類やシーツの洗濯をはじめ、調理器具や食器、介護用具、生活空間としての施設全体を電解水の衛生力がカバーするので高齢者施設でも安心して使用できます。



## 洗濯水に。

洗浄力のアルカリ性電解水。除菌力の酸性電解水。電解水のW効果は洗濯に最適です。



## 拭き掃除に。

洗浄のアルカリ性電解水と除菌の酸性電解水。混ぜて使用しても安全です。洗浄・除菌を続けて行っても安心してご使用になれます。



## 食器・調理器具に。

清潔な調理環境のために。 ※2  
しつこい汚れには漬け置きが効果的です。



※2:金属・ゴム・樹脂製の食品類は変色等がある場合がございます。

## フキンやダスターにも。

よく使うフキンなどは酸性電解水に漬け置きして除菌・消臭。オーバーフローさせながら行う事で効果が上がります。



# ※3 年間5億9,600万人が利用する国内の宿泊施設。 求められるのは質の高い衛生管理。

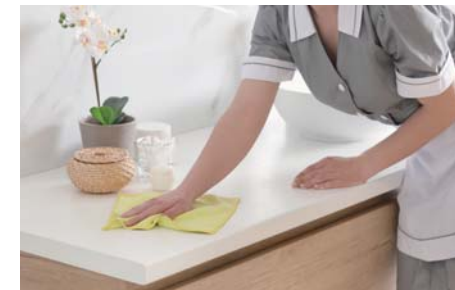
※3:延べ宿泊者数/令和元年度:宿泊旅行統計調査(国土交通省観光庁統計より)

オフィスビル、ホテル、商業施設、駅。不特定多数の人が集うパブリックスペースにおいては、往来する人数の増加に比例して菌との接触確率も必然的に高まります。現実的な対策として有効なのが、その空間を最大限「清潔」に保つこと。その要求に電解水の洗浄・除菌効果が応えます。また、電解水を使った清掃なら界面活性剤を使用していないので泡立たず、清掃の手間も省け、効率よい清掃作業が実現。管理する場所が多ければ多いほど、電解水が役立ちます。



## ホテルの客室に。

客室内を効果的に洗浄と除菌。消臭効果でお部屋の臭いもすっきり。



## トイレに。

「裏の玄関」とも呼ばれる場所だからこそ一番清潔に。汚れも菌も臭いも電解水で洗浄・除菌。



## ビルメンテナンスに。

人の通行が多いロビー、通路の清掃も効率よく短時間で。



## 商業施設に。

エスカレーター、ドアノブ等、不特定多数の人が接触する箇所も拭くだけで簡単除菌。



## 「普段使い」ができる。

生成された電解水は、特殊な薬品などを加える必要もなく、そのまま使用できます。幅広く、様々な器具と組み合わせで日常的な清掃作業に対応。「普段使い」ができる。この使い勝手のよさが特長です。



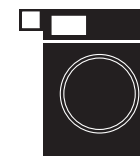
専用蛇口



スプレー



ぞうきん、モップ



洗濯機



業務用 高圧洗浄機

例えば、  
こんな器具で

※5  
**年間740万t以上の乳製品が日本国内で生産。  
 徹底した衛生管理で「安心」を食卓へ。**

※5: 令和2年度:食料需給表(農林水産省統計より)

安全な牛乳を食卓に届ける為には、生産者における環境衛生も当然ながら重要です。わずか乳牛1頭あるいは搾乳器1台の菌汚染であったとしても、その後、牛乳の経路となる貯留用タンク・運搬用タンク・工場において他の牛乳と混じることで「交差汚染」を招く恐れがあります。生産の最上流地点から、菌を排除する。しかも、健康被害の恐れのある薬品などは用いず、安全に。その課題を電解水が解決します。



**作業器具に。**

毎日使用する器具・用具の洗浄に。搾乳器など、家畜に触れる器具もくまなく除菌します。



**畜舎の清掃に。**

残留性が少ないため、畜舎の清掃にも使用可能。除菌・消臭で健やかな生育をサポートします。



**温浴施設の天敵ともいえるカビ、雑菌。  
 快適な環境をお客様に提供するために。**

カビや雑菌は循環式浴槽、冷却塔など、温かく栄養分のある水が循環している設備の中において非常に高い繁殖率を示します。これらの設備ではバイオフィーム(いわゆる「ぬめり」)が発生しやすく、カビや雑菌はこのバイオフィームに生息するアメーバに寄生して増殖するためです。このカビや雑菌対策に有効なのが、電解水。まず、アルカリ性電解水が菌の温床となるぬめりを洗浄。続いて、酸性電解水で除菌。浴場から脱衣所まで、幅広く使用できます。



**浴室の床や壁などの  
 表面についた汚れを落とす。**

酸性、アルカリ性2つの電解水でどんな汚れにも対応。泡立たないのですすぎも簡単です。



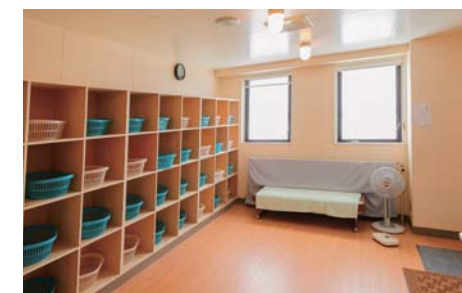
**鏡の洗浄に。**

落ちにくいウロコ状の汚れも、酸性電解水をスプレーし、中和する事で落ちやすくなります。



**風呂上りも気分良く。**

湿度・温度が高い脱衣所も臭いや菌の繁殖が気になる場所です。電解水を用いた清掃をすることで容易に衛生的な環境を保てます。



**タオルや衣類に電解水洗濯。**

洗いながら除菌ができ消臭効果の高い電解水による洗濯はタオルや浴衣などの洗濯に適しています。



**安全な野菜を消費者に届けるために。**

生鮮野菜の輸入量は近年減少傾向にあります。※6  
 年間に供給される野菜の約8割が国産という状況の中、国内の産地に寄せられた信頼を維持・向上させるためにも、安全対策は必須条件です。生成される次亜塩素酸水(酸性電解水)は食品添加物殺菌料として認められています。野菜などの食品の除菌に安心して使用することができます。※7

※6: 令和4年度:野菜をめぐる情勢(農林水産省)  
 ※7: 一部の機種に食品対応ではないバージョンがあります。

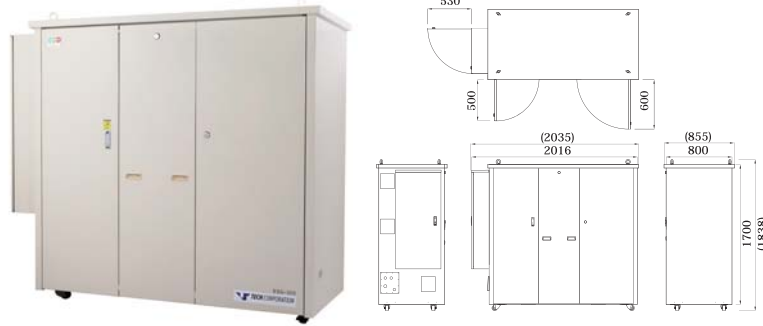
食品を除菌する場合はpHと有効塩素濃度が食品添加物(次亜塩素酸水)の規格基準(弱酸性次亜塩素酸水:pH2.7~5.0、有効塩素濃度10~60mg/kg)の範囲内でご使用ください。その場合、最終食品の完成前に水道水ですすぐ等し、電解水を除去してください。



**電解水は酸性・アルカリ性どちらの汚れにも効果的**

汚れにも酸性とアルカリ性があり、反対の性質の電解水で中和することで汚れが落ちやすくなります。『水垢』や『尿石』などの汚れはアルカリ性の性質をもつミネラル成分が固まってできているので、酸性の力で中和することでやわらかくなり落ちやすくなります。酸性、アルカリ性を混ぜても安心な電解水を、上手に使い分けた清掃を行ってください。

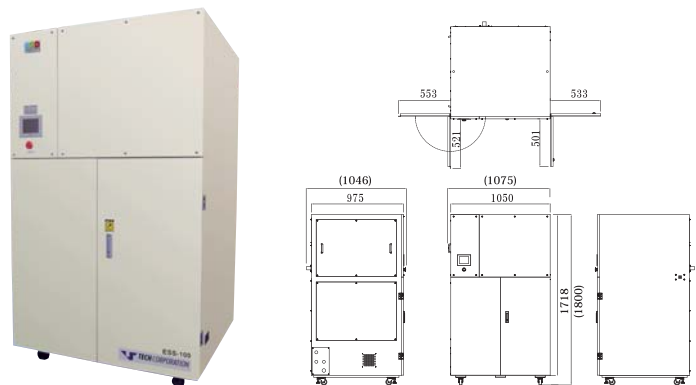
# ESS-300 酸性電解水、アルカリ性電解水、貯水タンク各300L。



本体内部に断熱材を施した【寒冷地仕様：ESS-300K】もございます。詳細につきましてはお問い合わせください。

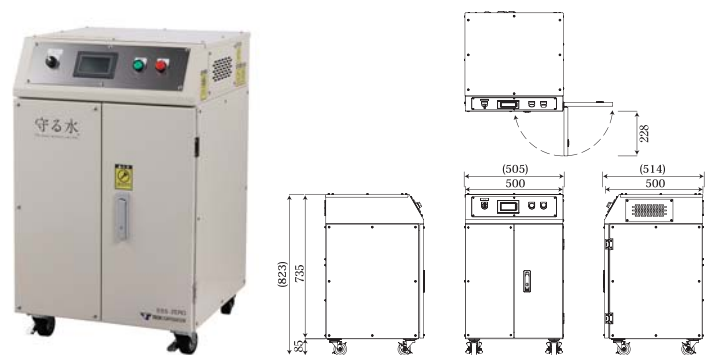
型 式	ESS-300
電 源	三相 200V 50/60Hz
消費電力	定格消費電力:2,133/2,413W 平均消費電力:174W
本体寸法	W2,016×D800×H1,700mm ※突起部等は含まず
電解水pH	酸性電解水:pH3.0～5.0 アルカリ性電解水:約pH10.5以上 (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
有効塩素濃度	20～60mg/kg (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
生成量	酸性電解水:最大約5.0L/min アルカリ性電解水:最大約5.0L/min (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
使用量目安	最大9,000L/日 (値は酸・アルカリの合計流量 原水硬度:44.6mg/L・標準仕様時において)
ポンプ送水能力	最大揚程 8.6/12m (50/60Hz) 最大流量 115/150L/min (50/60Hz):揚程0m,開放
重 量	乾燥重量/約 475kg 満水時/約 1,075kg
給排水	給水/水道水質基準適合(給水圧0.2～1.0MPa) 排水/背圧がかからないこと
使用温度範囲	周囲温度:-5℃～35℃ (凍結防止ヒーター搭載)
備 考	屋外仕様(アンカーボルトによる固定)

# ESS-100 タンク容量100L。中規模施設に最適なタイプ。



型 式	ESS-100
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	定格消費電力:1,556/1,721W 平均消費電力:147W
本体寸法	W1,050×D975×H1,718mm ※突起部等は含まず
電解水pH	酸性電解水:pH3.0～5.0 アルカリ性電解水:約pH10.5以上 (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
有効塩素濃度	20～60mg/kg (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
生成量	酸性電解水:最大約5.0L/min アルカリ性電解水:最大約5.0L/min (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
使用量目安	最大9,000L/日 (値は酸・アルカリの合計流量 原水硬度:44.6mg/L・標準仕様時において)
ポンプ送水能力	最大揚程 6.7/9.7m (50/60Hz) 最大流量 86/97L/min (50/60Hz):揚程0m,開放
重 量	乾燥重量/約 351kg 満水時/約 552kg
給排水	給水/水道水質基準適合(給水圧0.2～1.0MPa) 排水/背圧がかからないこと
使用温度範囲	周囲温度:5℃～35℃
備 考	屋内仕様(床置き、要排気設備、凍結・結露しない場所であること)

# ESS-ZERO タンクレスで驚きの省スペースを実現。

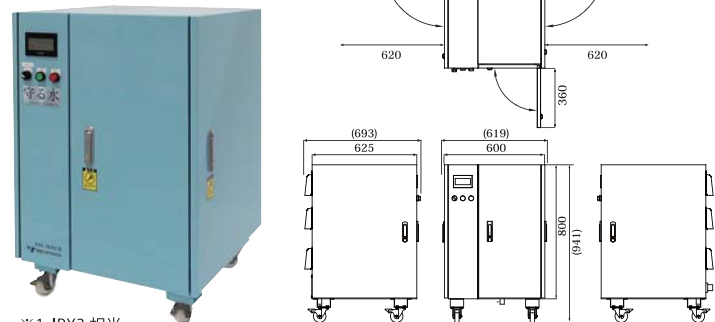


型 式	ESS-ZERO
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	定格消費電力:650W 平均消費電力:143W
本体寸法	W500×D500×H735mm ※突起部等は含まず
電解水pH	酸性電解水:pH3.0～5.0 アルカリ性電解水:約pH10.5以上 (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
有効塩素濃度	20～60mg/kg (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
生成量	酸性電解水:最大約5.0L/min アルカリ性電解水:最大約5.0L/min (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
使用量目安	最大2,000L/日 (値は酸・アルカリの合計流量,原水硬度:44.6mg/L・標準仕様時において)
重 量	乾燥重量/約 72kg
給排水	給水/水道水質基準適合(給水圧0.2～1.0MPa) 排水/背圧がかからないこと
使用温度範囲	周囲温度:5℃～35℃
備 考	屋内仕様(床置き、要排気設備、凍結・結露しない場所であること)

## 有償オプション 専用守水カバー [オープンプライス]

# ESS-ZEROⅢ 防水仕様でタンクレス。タフな現場で活躍します!

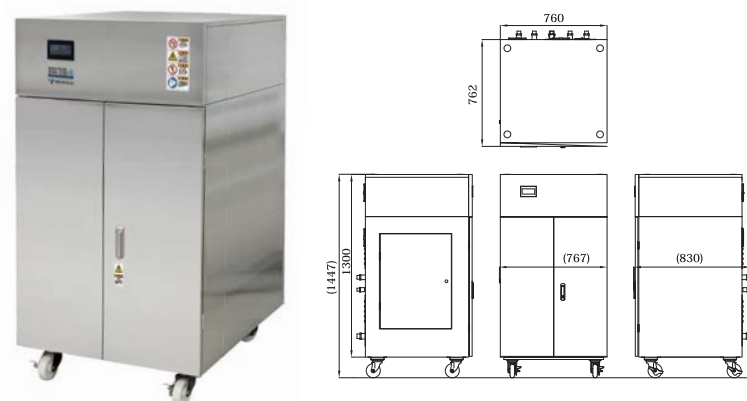
### 防水仕様 ※1



型 式	ESS-ZEROⅢ
電 源	AC100V 50/60Hz
消費電力	定格消費電力:920W 平均消費電力:163W
本体寸法	W600×D625×H800mm ※突起部等は含まず
電解水pH	酸性電解水:pH3.0～5.0 アルカリ性電解水:約pH10.5以上 (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
有効塩素濃度	20～60mg/kg (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
生成量	酸性電解水:最大約5.0L/min アルカリ性電解水:最大約5.0L/min (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
使用量目安	最大2,000L/日 (値は酸・アルカリの合計流量,原水硬度:44.6mg/L・標準仕様時において)
重 量	乾燥重量/約 94kg
給排水	給水/水道水質基準適合(給水圧0.2～1.0MPa) 排水/背圧がかからないこと
使用温度範囲	周囲温度:5℃～35℃
備 考	屋内仕様(床置き、要排気設備、凍結・結露しない場所であること)

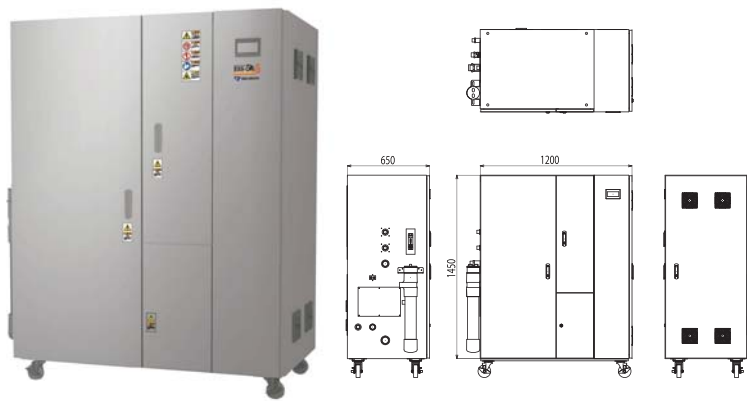
※1:IPX3 相当

# ESS-25L+4 PREMIUM 大量生成のために進化しました。



型 式	ESS-25L
電 源	三相 200V 50/60Hz
消費電力	定格消費電力:2,400W
本体寸法	W760×D762×H1,300mm ※突起部等は含まず
電解水pH	酸性電解水:pH3.0～6.5 アルカリ性電解水:約pH10.5以上 (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり) ※上記の数値範囲内に設定されます。数値の指定はおこなえません。
有効塩素濃度	10～35mg/kg (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
生成量	酸性電解水:最大約25.0L/min (酸性電解水 約8.0L/min+微酸性電解水 約17.0L/min) アルカリ性電解水:最大約4.0L/min (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり) ※酸性電解水の生成量は1室型電解槽と3室型電解槽から生成される合計量です。
使用量目安	最大21,000L/日 (値は酸・アルカリの合計流量 原水硬度:44.6mg/L・標準仕様時において)
重 量	乾燥重量/約213kg
給排水	給水/水道水質基準適合(給水圧0.35～0.5MPa) 排水/背圧がかからないこと ※給水口径:20A以上、水圧0.35MPa以上、水量35L/min程度は必要です。 ※水圧が0.5MPaを超える場合は減圧弁を本製品一次側に設置してください。
使用温度範囲	周囲温度5℃～35℃ (規定周囲温度以上の原水は通水しないこと)
備 考	屋内仕様(床置き、要排気設備、凍結・結露しない場所であること)

# ESS-50L+5 PREMIUM 25L+4 が進化した大量生成タイプ。



型 式	ESS-50L
電 源	三相 200V 50/60Hz
消費電力	定格消費電力:2,700W
本体寸法	W1,200×D650×H1,450mm ※突起部等は含まず
電解水pH	酸性電解水:pH3-6.5 アルカリ性電解水:約pH10.5以上 ※電解質は、装置外より供給します。※専用液による水質調整機能があります。 ※場合により電解質水溶液添加システムによる調整を行います。 ※上記の数値範囲内に設定されます。数値の指定は行いません。
有効塩素濃度	10～35mg/kg (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり)
生成量	酸性電解水:最大約50.0L/min (酸性電解水 約8.0L/min+微酸性電解水 約42.0L/min) アルカリ性電解水:最大約5.0L/min (原水の水質・水温・水圧等により異なる場合あり) ※酸性電解水の生成量は1室型電解槽と3室型電解槽から生成される合計量です。
重 量	乾燥重量/約260kg
給排水	給水/水道水質基準適合(給水圧0.35～0.5MPa) ※給水の一部は軟水化する必要があります。 ※給水口径:20A以上、水圧0.35MPa以上、水量35L/min程度は必要です。 ※水圧が0.5MPaを超える場合は減圧弁を本製品一次側に設置してください。 排水/背圧がかからないこと
使用温度範囲	周囲温度5℃～35℃ (規定周囲温度以上の原水は通水しないこと)
備 考	屋内仕様(床置き、要排気設備、凍結・結露しない場所であること)

### 定期交換部品・消耗品〔有料〕

安心してお使いいただくために各製品毎に有料の【消耗品】と【定期交換部品】がございます。詳細につきましては弊社までお問い合わせください。

ご購入に際しては『使用上のご注意』の内容を必ず事前にご確認の上、ご購入ください。

### 使用上のご注意

- ・電解水の水質、生成量は、原水の水質などによって変動する事があります。
- ・硬度等、詳細な現場確認事項があります。
- ・電解水は正しい手順や方法で使用する事で能力を発揮します。間違った使い方をすると電解水の効果が得られないだけでなく、不具合を生じる可能性もありますので、十分ご注意ください。
- ・酸性電解水のみを大量に使用する場合(床などの清掃)は、十分な換気をおこなってください。また、必ず十分な水ですすぎをしてください。
- ・電解水は保存状態・保存期間により性質が大きく変化します。極力、一日毎に容器の水を入れ替えてください。
- ・電解水を貯水している容器、またはタンクの中を直接のぞき込まないでください。
- ・電解水を貯水している容器、またはタンクに火気を近づけないでください。
- ・使用した電解水等の排水は、設置・使用状況によっては中和処理が必要な場合があります。
- ・中和剤は必ず指定のものをご使用ください。市販の粒径・成分の異なる中和剤を使用したり、別の中和剤を投入すると中和効果が得られないばかりか、思わぬ事故につながる原因になります。
- ・このカタログ上の製品から生成される電解水は飲用ではありませんので、決して飲用しないでください。
- ・万一、換気が不十分で気分が悪くなる等の症状が出た時は、速やかに使用を中止して医師に相談してください。
- ・霧化器に入れて噴霧する際、気密性の高い部屋などでは換気をせずに長時間ご使用になるのはおやめください。
- ・電解水が万一、目に入って異常を感じた時は医師に相談してください。万一、飲み込んでしまい、異常を感じた時は医師に相談してください。
- ・電解水を使用する場合、皮膚の弱い方は手が荒れることがありますので、使用後はハンドクリームなどの塗布を行うか、または使用時に手袋をお使いください。
- ・ヒーターによる火傷に十分注意してください。(ESS-300のみ)
- ・補充等で、水、塩などがこぼれた時は速やかに拭き取ってください。
- ・安定した品質の電解水を生成するために塩は指定の物を使用してください。
- ・このカタログ上の製品から生成される電解水を容器に入れて販売しないでください。
- ・設置・保守点検につきましては、販売店もしくはメーカーにお問い合わせください。
- ・このカタログ上の製品は、定期点検および機器のメンテナンスを必要とします。故障や事故を未然に防ぐために、少なくとも毎月1回は販売店もしくはメーカーよりメンテナンスを受けてください。
- ・少なくとも週に1回は、ユーザーによる消耗品の確認・補充作業を行ってください。
- ・電解水は使用后、拭き取るか洗い流してください。

※定期交換部品は消耗品のため、設置後1年間の修理保証対象外です。  
※このカタログの記載内容は2023年12月のものです。